

オープン市場短信 (2019年11月)

2019.11.12

◆ 10月のCP市場動向

10月末のCP市場残高は、19兆8,106億円と前年同月比で32カ月連続して増加した(+1兆5,562億円)。一般事業法人の発行は前年と比べやや低調となっているが、その他金融は大幅に発行増となっており、市場拡大の牽引役となっている。業態別残高では、一般事業法人は7兆4,076億円(前月比+2兆1,120億円)、その他金融は9兆8,773億円(同+5,443億円)と増加した。一方、金融機関は1兆3,788億円(同△2,272億円)、ABC Pは1兆1,469億円(同△1,742億円)と減少した。発行レートは、投資家やディーラーの購入ニーズがやや落ち着き、浅いマイナス~0%近辺の出会いとなり、発行量の多い銘柄では浅いプラスでの出会いも散見された。

【新発3M物の発行レート】

最上位銘柄(a-1+格) 0.000%割れ~0% 一般事業法人(a-1格) 0.000%割れ~0% その他金融銘柄(a-1格) 0.000%割れ~0.020%

【業態別残高内訳】

(単位: 億円)

業 態	10月末残高	9月末残高	増 減
一般事業法人	74,076	52,956	21,120
その他金融	98,773	93,330	5,443
金融機関	13,788	16,060	-2,272
政府系金融	0	0	0
銀行等	3,100	2,640	460
証券	10,688	13,420	-2,732
ABC P	11,469	13,211	-1,742
計	198,106	175,557	22,549

(注: 買入消却分含む)

【格付け別の発行レート】

格 付	1カ月	2カ月	3カ月
a-1+ (一般事業法人)	0.0000% ~ —	△ ~ 0.0000%	△ ~ 0.0000%
a-1 (一般事業法人)	△ ~ 0.0100%	△ ~ 0.0010%	△ ~ 0.0000%
a-1+ (リース銘柄)	— ~ —	— ~ —	△ ~ 0.0000%
a-1 (リース銘柄)	0.0000% ~ —	△ ~ 0.0080%	△ ~ 0.0200%
a-2	-0.0003% ~ ケ0.15%	0.0015% ~ ケ0.15%	0.0700% ~ ケ0.15%

「CPオペ」

CP等買入オペは、2回のオファーに止まり、オファー額が月間で合計5,000億円と前月比△7,000億円減少した。按分レートは、オファー額の減少とディーラーの積極的な応札により、11日と28日の何れも△0.001%と、前月オペに対し（△0.006%・△0.009%・△0.005%）上昇した。

〈月末オペ残高：2兆1,814億円〉

【日銀CP等買入れオペ実績】

(単位：億円)

実施日	実行日	オファー金額	応札額	落札額	按分・全取	平均落札	按分比率
10月11日	10月17日	2,500	8,099	2,485	-0.001%	0.004%	17.0%
10月28日	10月31日	2,500	8,905	2,495	-0.001%	0.000%	20.5%

「ABC P」

ABC Pは、1兆3,211億円と前月比△1,742億円減少し、前年同月比も△632億円の減少であった。

「短期社債登録状況」

証券保管振替機構によると、10月末時点における発行登録企業数は変わらず528社であった。

「CP現先市場」

現先(S/N)レートは運用ニーズ強く、マイナス～0%近辺での出会いで0%では引き続き買い残り状態となっていた。

◆ 11月のCP市場動向

11月の発行市場は、月後半に企業の賞与資金手当てや税払い等の資金需要が強まり、発行案件が増加すると思われる。発行残高は、一般事業法人の発行が夏以降やや鈍化しているものの月中は20兆円台前半で推移し、月末残高は20兆円台後半を予想する。一般事業法人の発行は有利子負債の削減需要から、12月末までのショートターム物の発行が主体となろう。発行レートは、マイナス～0%近辺での出会いと思われるが、発行量の多い銘柄ではプラスレートでの

出合いを予想する。

«CPオペ»

今月のCP等買入オペは、19日の1回のみの予定でオファー額は4,000億円程度となっている。按分レートは、現在の新規発行が少ないこともあり、低下を予想する。

«CP現先市場»

CP現先レートは、投資家の運用ニーズが強く、引き続き0%近辺での出合いを予想する。

* 参考資料 (出所：証券保管振替機構)

【10月末発行残高 上位10社】

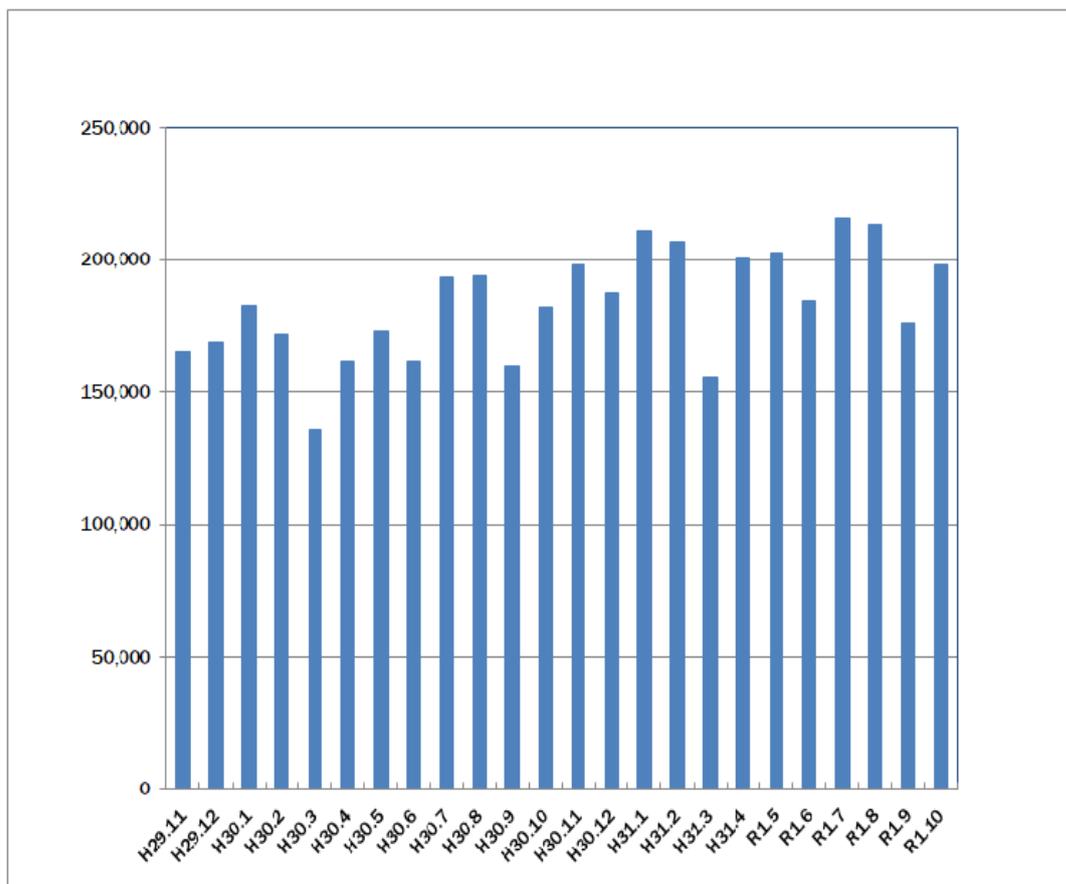
(単位：億円)

	発行企業名	10月末残高	9月末残高
1	三菱商事	11,129	2,050
2	三井住友ファイナンス&リース株式会社	9,479	9,559
3	NTTファイナンス株式会社	8,770	6,400
4	三菱UFJリース株式会社	7,383	7,371
5	東京センチュリー株式会社	6,860	5,800
6	株式会社クレディセゾン	5,970	5,880
7	みずほリース株式会社	5,500	5,500
8	三菱重工業	4,900	2,450
9	コンチエルト・レシーバブルズ・コーポレーション	4,675	5,069
10	ジャックス	4,445	4,075

【短期社債市場残高】

(2017年11月～2019年10月)

(単位：億円)



本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

大阪本社 〒 541-0043 大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号

東京本社 〒 103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号

加入協会 日本証券業協会